

土地連だより

第8号 (2024年冬号)



目次
2~3ページ 令和6年度賃貸料予算が「1,062億円」で決定される
4ページ 農業所得の見直しについて

写真：(一社)沖縄市軍用地等地主会(左から常任副会長、瑞慶山会長、島袋副会長。地主会詳細は裏面を参照)

2024年冬

第8号



土地連だより

2024年2月29日発行
発行／(一社) 沖縄県軍用地等地主会連合会
〒904-0103 沖縄県中頭郡北谷町桑江一丁目6番29号

速報：農業所得の見直しについて

軍用地等の賃貸料単価の算定のあり方については、施設外の周辺の開発等を施設内の土地評価に十分反映させるため、本会と沖縄防衛局の間で平成24年に締結した「評価地目の見直し等に関する覚書」における「準宅地」の考え方に基づいて、宅地と宅地見込地との単価差の是正を実施しております。

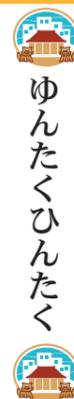
同覚書について、平成29年の見直しの際、意見書や地主会訪問を通じて、会員から意見を聴取したところ、「地域間（北部・中部・南部）格差が大きいことから、是正してもらいたい」旨の意見が多数あったことから、これまでの間、「地域間格差の是正に向けた協議会（防衛省、沖縄防衛局、土地連、関係地主会長）」にて是正方法が協議されてきました。

この度、協議の結果として、同覚書にて国と見直すことを約束していた農地・農地見込地における農業所得の見直しを実施することとなりました。

農業所得の見直しによる単価是正は総額10億円程度を目途としており、令和6年度予算より増額予算の範囲内で実施されることとなります。

在日米軍従業員の事前募集について

【インターネット応募】
「LMO」で検索 (<http://www.lmo.go.jp>)
【窓口応募受付場所及び問合せ先】
 独立行政法人
駐留軍等労働者労務管理機構
沖縄支部 管理課
エルモ
〒904-0202
沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058番地1
(道の駅かでな隣り) TEL (098) 921-5532



▼新年を迎えるにあたり、我が家では目標の漢字一字を宣言することに▼私は新たな技術取得などを通じて、これまでの自分を越えたいとの願いから「越」を選択▼昨年の健康診断では、肥満による数値異常で再検査に▼次回の健診では体重は越えないようダイエット頑張ろう(しゅーへ)

地主会紹介 一般社団法人 沖縄市軍用地等地主会

所在地：〒904-0014 沖縄市仲宗根町35-14

業務時間：平日午前9時より午後5時まで（12時から13時は昼休み、土日・祝祭日休業）

所管施設：【駐留軍施設及び自衛隊施設】 嘉手納飛行場、嘉手納弾薬庫地区、キャンプ瑞慶覧、瑞慶覧ケーブル敷、キャンプ・シールズ、泡瀬通信施設、陸軍貯油施設、陸上自衛隊・白川分屯地、陸上自衛隊・沖縄訓練場

【県企業局用地】 山里調整池

【沖縄電力用地】 嘉手納変電所（嘉手納飛行場内）、沖縄幹線

会員数：7,138名（令和5年度時点）

賃貸料額：約158億円（令和5年度時点）

貸貸料予算は1.1%増の「1,062億円」

— 令和6年度貸貸料増額措置要請・交渉 —

政府は令和5年12月22日、令和6年度の沖縄県の駐留軍用地等に係る貸貸料予算が、「対前年度比1.1%増」の約1,062億円となることを発表しました。

本会では、令和6年度貸貸料予算をめぐり、沖縄防衛局や防衛本省への要請を行い、防衛本省による提示と再交渉を経て、最終的に「1.1%、約12億円増」の増額分の予算を獲得できました。本特集では、貸貸料予算に係る要請及び交渉過程を報告します。

地権者の生活の安定に向けた増額を — 定時会員総会にて要求額を決定 —

令和6年度の貸貸料要求額については、令和5年6月28日に開催された「第100回定時会員総会」において、深刻化する国際情勢や歴史的な物価上昇、県内の地価上昇を受け、適正な貸貸料要求額として、次のとおり増額を求めることが決定されました。

「令和6年度軍用地等貸貸料の増額措置 について（要請）」

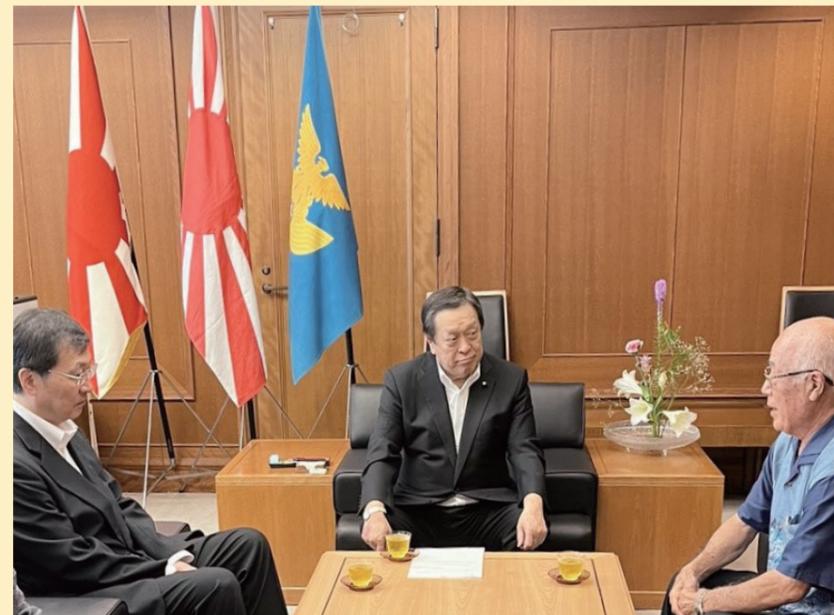
- 要求額1127億円
- 前年度比7・4%増（78億円増）

予算増額により信頼関係の更なる深化を

— 浜田防衛大臣への要請を実施 —

要請活動は、全役員にて令和5年7月4日に沖縄防衛局長、防衛省に対しては7月6日に三役が上京し、浜田防衛大臣へ要請を行いました。要請において、又吉会長からは、本年が本会の設立から70年を迎える節目の年である。先人たちの想いと、沖縄防衛局を始め、防衛本省との信頼関係の賜である。日米同盟の深化が進むなか、地権者が安全・安心して、土地を提供でき

るよう、要請の趣旨を踏まえて増額措置してもらいたい、旨を要望しました。これに対して、浜田防衛大臣からは、沖縄の皆様には、防衛施設用地として貴重な土地を提供いただいていることに心から感謝している。要請内容については、深澤地方協力局長をはじめ担当者としてしっかり考えて、増額予算によって、沖縄に対する思いをしっかりと示していきたい、旨の回答がありました。



浜田防衛大臣（写真中央）へ要請の趣旨を説明する
又吉会長（写真右）（7月6日、防衛省）

軍用地等の情勢等を基にした増額を訴える — 全役員での上京・再交渉 —

その後、8月16日開催の理事会において、防衛省より沖縄防衛局を通じて、令和6年度軍用地等貸貸料の概算要求案として、「対前年度比0・97%、10・2億円増」の約1060億円が提示されましたが、理事会では、提示額は不満で受け入れられない、として、全役員にて上京し、防衛省への再交渉を行うこととなりました。

8月24日の防衛省との交渉では、冒頭、又吉会長より、予算の再考を求めるため上京してきたことを説明し、理事からも、農業所得の見直しを実施するための予算（4面関連）

が必要であることや地価上昇等を貸貸料額へ反映するよう求める意見が出されま

した。こうした意見に対し、防衛省の掛水参



全役員で交渉に臨む（8月24日、防衛省）

事官からは、我々は防衛施設周辺の地価動向や開発状況等の客観的データを基に国の基準に則って算定しており、格差是正等にも取り組んでいるが、未だ満足行くところまで至っておらず、引き続き頑張っていきたい。皆さんの意見は理解しているつもりである。省内での検討が必要であることから、検討結果については改めてご報告させてもらいたい、旨の回答がされました。

同日、掛水参事官より又吉会長に対して電話連絡があったことを受け、緊急理事会を開催し、再考した結果として、「対前年度比1・02%、約11億円増」が提示されたことが報告されました。

これを基に、理事会で協議した結果、本会の意見が十分に反映されていないとして、更なる上乘せを求める意見があり、新たに就任した大和地方協力局長との再交渉については会長へ一任することとなりました。

翌25日の再交渉で又吉会長は、理事会の協議結果を踏まえ、交渉に臨んでおり、今後の土地連と防衛省との信頼関係を維持していくためにも予算の増額措置が必要である、として増額を強く求めました。その結果、大和地方協力局長より「精

一杯検討した結果として対前年度比1・1%、11・54億円増を提示する。役員も期待も理解しており、大変心苦しいがご理解いただきたい」との提示がされ、最終的に妥結しました。

政府案は概算要求通り満額を確保

政府予算案の決定を迎える見通しとなったことから、12月21日、又吉会長は上京し、大和地方協力局長に対し、予算額の満額確保を要請しました。これに対し、「予算額の確保に向け、調整等に取り組んでおり、満額確保される見通しである」旨の回答を受けました。

こうした経緯を経て、12月22日付、政府は令和6年度軍用地等貸貸料を概算要求通り予算案として閣議決定しました。

令和6年度予算額（貸貸料）

- 予算額
1,061億8千6百万円
- 前年度比
1.1%増（約12億円増）